

ご担当者各位

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2017 観客賞発表!!

長編部門『三尺魂』

短編部門『born、bone、墓音。』

アニメーション部門『ももちゃんのねこ』

映画祭動員数発表!!

来場者合計 9,228名 (前年比102%)

平素よりお世話になっております。

世界に先駆けてデジタルシネマにフォーカスし、若手映像クリエイターの登竜門として2004年にスタートしたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭(主催:埼玉県、川口市ほか)は、7月15日(土)から23日(日)までの9日間、14回目の開催を迎え、去る7月23日(日)のクロージング・セレモニー(表彰式)にて、長編・短編・アニメーション部門のコンペティション3部門の各賞の発表・表彰とともに全日程を終了しました。

そしてこの度、後日発表としておりました、「観客賞」の結果が決定しました!

審査員により決定される賞とは別に発表される本賞は、来場されたお客様ひとりひとりによる人気投票の集計結果となっており、観客賞を獲得した作品は、もっとも観客の皆さまの支持を集めた作品といえます。

長編部門で観客賞を受賞した『三尺魂』(加藤悦生監督)は、先日23日(日)のクロージング・セレモニーにて、国内作品を対象に、今後の長編映画制作に可能性を感じる監督に対して授与する「SKIPシティアワード」にも輝いており、観客賞とのW受賞となりました。

観客賞の受賞結果は下記の通りです。ぜひ本情報を貴媒体にてご紹介くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。



長編部門(国際コンペティション) 観客賞



『三尺魂』

<2017年/日本/93分>

監督:加藤悦生

出演:村上穂乃佳、木ノ本嶺浩、辻しのぶ、津田寛治

©三尺魂 2017

★SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 2017

長編部門 SKIPシティアワード受賞

<STORY>

人生って打上花火のようなもの? 時を超えて展開する涙の人間模様。

巨大な花火を使った集団自殺のため集まった4人の男女。だが何故か爆発の度に集合前の時間に戻ってしまう。メンバーの一人が未来ある女子高生なのが原因と考えた残りの3人は、彼女に自殺をやめるよう説得するが…。

観客賞受賞コメント 加藤悦生監督

僕らが映画を創るうえで心に留めているのは“誰のための映画なのか”です。楽しければいい、笑えればいい、というのでは制作者の利己的映画になってしまいます。『三尺魂』は観ていただく誰かのために、スタッフ全員が慎重に丁寧に創った作品です。このような賞をいただき、評価をいただけたことは、僕らの思いが観ていただいた皆さんに伝わったのだと実感できますので喜びもひとしおです。ありがとうございました。

短編部門(国内コンペティション) 観客賞



『born、bone、墓音。』

<2016年/日本/20分>

監督：ゴリ

出演：ゴリ、佐藤仁美、山城智二、古謝美佐子、具志堅あずさ、伊波雅美、福田加奈子、けんたくん

©沖縄県

<STORY>

骨を洗う儀式を通して、家族の絆を軽妙に描くハートフルコメディ。

新婚の等は、妻・優子を紹介するため故郷の粟国島に帰ってきた。しかし、帰郷した本当の理由を告げた途端、優子は大激怒。その理由とは、島で受け継がれてきた風習「洗骨」だったのだ。

観客賞受賞コメント ゴリ監督

粟国島の風習が取らせてくれた賞だと思います。僕自身もこの映画を撮るまで洗骨の存在は知りませんでした。祖先を丁寧に送る風習は神秘的に満ちています。島のおばあちゃんたちが伝えてくれた詳しい洗骨の話も脚本を充実させましたし、島の若者たちの無償の協力も現場を活気付けさせました。短期間の撮影で、焦りの気持ちが出て来た時も、現場のスタッフが明るく作業する事で気持ちも楽になり、役者陣も楽しそうに演じてくれたので、クランクアップは清々しいものでした。みんなの気持ちと島の歴史が詰まった作品を観て喜んで頂けた事が何よりのご褒美です。

アニメーション部門(国内コンペティション) 観客賞



『ももちゃんのねこ』

<2016年/日本/10分>

監督：今林由佳

© Shogakukan Inc.2016 All rights reserved.

<STORY>

ももちゃんと猫のみゅうは、友だちであり、かけがえのない大切な家族。しかし、みゅうはももちゃんよりもずっと早く年老いていく…。猫と出会った少女の成長を、愛情溢れる柔らかいタッチで描いた、心温まる掌編。

観客賞受賞コメント 今林由佳監督

観客賞大変嬉しいです！ 『ももちゃんのねこ』は、「親子が『生命』というテーマについて語り合うきっかけになるような映像が作りたい」という想いから生まれた作品なので、お子さんたちも多く来場される本映画祭にて上映され、多くの方に観ていただけたこと非常に嬉しく感謝しております。ほかのノミネート作品からも、多くの刺激を受けましたし、この経験を糧に次の作品づくりに励みたいと思います。最後に、このアニメーションを実現させていただいた、プロデューサーの菊池さん、原案・監修のわだことみ先生に感謝申し上げます。

観客賞は、映画祭会期中に実施した観客投票により決定しました。受賞作品には、それぞれ

・主催者賞：賞状の授与 ・副賞：埼玉県産品 が贈られます。

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2017 来場者数の発表について

第14回を迎えたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭2017は、2017年7月15日(土)～23日(日)の9日間開催され、来場者数合計では、前年(2016年/9,050名)を上回る9,228名となり、2013年の10,043名、2015年の9,375名に次いで過去3番目の来場者数となりました。また1日あたりの入場者数では1,025名となり、こちらは過去2番目に多い数字となりました。(※2013年は10日間開催のため)

翌2018年には第15回の節目を控え、本映画祭の認知度が着実に向上してきたとともに、埼玉県内だけでなく東京都内をはじめ近隣都県や遠方からの来場者が増加していること、またコンペティション部門上映作品のクオリティの向上などが要因と分析しております。

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2017 来場者数 9,228名

***1日あたり1,025名 *前年比 約102%**

<参考資料> SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 入場者数(2004年～2017年)

| | 開催期間 | 開催日数 | 入場者数 | 一日あたりの入場者数 |
|------|-----------------|------|---------|------------|
| 第1回 | 2004年3月20日～28日 | 9日間 | 5,084名 | 564名 |
| 第2回 | 2005年7月16日～24日 | 9日間 | 5,630名 | 625名 |
| 第3回 | 2006年7月15日～23日 | 9日間 | 5,143名 | 571名 |
| 第4回 | 2007年7月14日～22日 | 9日間 | 6,548名 | 717名 |
| 第5回 | 2008年7月19日～27日 | 9日間 | 5,912名 | 656名 |
| 第6回 | 2009年7月10日～20日 | 11日間 | 7,538名 | 685名 |
| 第7回 | 2010年7月23日～8月1日 | 10日間 | 8,161名 | 816名 |
| 第8回 | 2011年10月8日～16日 | 9日間 | 6,690名 | 743名 |
| 第9回 | 2012年7月14日～22日 | 9日間 | 8,077名 | 897名 |
| 第10回 | 2013年7月12日～21日 | 10日間 | 10,043名 | 1,004名 |
| 第11回 | 2014年7月19日～27日 | 9日間 | 9,104名 | 1,011名 |
| 第12回 | 2015年7月18日～26日 | 9日間 | 9,375名 | 1,041名 |
| 第13回 | 2016年7月16日～24日 | 9日間 | 9,050名 | 1,005名 |
| 第14回 | 2017年7月15日～23日 | 9日間 | 9,228名 | 1,025名 |

<SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2017 開催概要>

■会期：2017年7月15日(土)～7月23日(日)

■会場：SKIPシティ 映像ホール、多目的ホールほか(川口市上青木3-12-63)

■主催：埼玉県、川口市、SKIPシティ国際映画祭実行委員会、特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会

■公式サイト：www.skipcity-dcf.jp

※上映作品の画像等は、<Image.net>でも配信しております(要登録・無料)。ぜひご活用ください。

(URL：www.image.net)

【お問合せ】SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局 広報：堀切

TEL：048-263-0818 FAX：048-262-5635 E-Mail：horikiri@skipcity.com

MOBILE：090-4228-2342